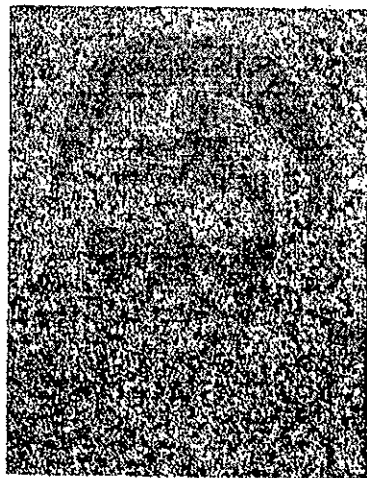


(財)女性のためのアジア平和国民基金

# 第38回理事会

平成11年2月



**위안부 출신 화가  
故 강덕경 할머니 얼굴  
3천명 지문으로 '부활'**

종군위안부 출신으로 일제의 만행을 그림으로 세상에 알리고 97년 2월 작고한 「위안부 화가」 강덕경(姜德景) 할머니의 모습이 3천명의 「지문 그림」으로 되 살아났다. <사진>

정신대 할머니들의 심터인 「나눔의 집」(원장: 혜진·慧眞 스님)은 『지난해 8월부터 12월까지 「일본군 위안부 역사관」을 방문한 3천여명이 지문을 찍어 강 할머니의 모습을 재현했다』고 말했다.

여기에는 국내 인사 2천여명을 포함, 일본인 방문객 1천여명과 클라우스 폴러스 주한 독일대사, 대만과 일본 국회의원 모두 3천여명의 지문이 찍혀 나. 70×100cm 크기인 이 작품은 판화가인 장원철(鄭源澈·39)씨의 제안으로 종이를 붙여 할머니의 얼굴 윤곽을 만든 뒤 그 위에 지문을 찍고 종이를 떼서 완성했다.

나눔의 집은 할머니의 2주기를 맞아 이 작품을 염서로 만들어 「범국민 지문서명 운동」을 전개하기로 했다. 일본군 위안부 역사관에서 항의엽서를 받아, 지문을 찍은 뒤 역사관으로 보내면 이를 모아 2월 23일 위안부 관련 재판부인 일본 히로시마 법정에 전달하는 것이다.

☎(0347)768-0064

<李漢洙기자·hslee@chosun.com>

**慰安婦出身 (ママ) 画家故姜德景ハルモニ  
二の顔が三千人の指紋で復活**

従軍慰安婦出身で日帝の蛮行を絵画で世に知らしめ、97年2月に死去した「慰安婦画家」姜德景(カン・ドッキョン)ハルモニの姿が、三千名の「指紋による絵」によって復活した。(写真参照)

挺身隊ハルモニの憩いの場である「ナヌムの家」(院長: 慧真師)は「昨年8月から12月まで「日本軍慰安婦歴史館」を訪問した三千人あまりが指紋を押してハルモニの姿を再現した」と語った。

これには国内の人士、二千名を含めて、日本人の訪問客千名あまりとクラウス・ポーラス駐韓ドイツ大使、台湾と日本の国会議員等合わせて三千名あまりの指紋が押されている。70×100cmサイズのこの作品は版画家の鄭園澈氏の提案で、切り紙を張りつけてハルモニの顔の輪郭を描いた後にその上に指紋を押し、最後に紙をはがして完成した。

ナヌムの家はハルモニの2週忌を迎えるにあたってこの作品を葉書にし、「汎国民指紋署名運動」を展開している。日本軍慰安婦歴史館からこの葉書を受け取り、指紋を押して歴史館に返送すると、これを集めて2月23日に広島で開かれる慰安婦関連裁判の法廷に抗議の葉書として提出される。

(朝鮮日報 1月27日 30面)

99.1.27. J.T.

# 'Bandit queen' denounces caste system

Abolish India's social order to stop abuse of women, Phoolan Devi urges

By AKEMI NAKAMURA

Staff writer

KYOTO — To reduce social rifts between the rich and poor, and to eliminate the abuse of women in India, the country's long-held caste system should be abolished, Phoolan Devi, a former member of Parliament known as the "bandit queen," said during a lecture here.

"The caste system has burdened people with a number of regulations that have tormented the lower castes. Social classes are firmly fixed, and women are abused by upper-caste men. Without this system, people could build mutual relationships, and the gaps between the lower and upper castes could be narrowed," Devi said at Kyoto Seika University earlier this month.

Hindus, who account for about 80 percent of India's population, belong to castes that are determined for life. Devi is from the Mallah caste, considered one of the untouchables known as oarsmen who make their living fishing and farming.

Although the Indian Constitution, established in 1950, bans caste discrimination, the ancient system still controls daily life.

Devi, who does not know her exact age but said she was born sometime around 1958 into a poor family of nine children, was married at age 11 to a man over 30 years old.

Without knowing what marriage meant, she was beaten by her husband and abused sexually.

"My former husband told me he could do anything to me because I was his wife," Devi said to about 1,700 guests, some listening to her interpreted speech via a monitor.

She became ill soon after



Phoolan Devi

her marriage and her father took her back to her home village in eastern India. But even though Devi's marriage was eventually annulled, her torment continued there.

Devi's father and cousin were in a dispute over a portion of land at the time. Devi, who encouraged her father to

of bandits hired by her cousin.

But there she received respect from one of the bandit leaders, a Mallah. Devi became the young leader's bride and lived with the bandits in the jungle.

After her husband was gunned down by a rival robber, Devi took up a rifle and formed a gang to avenge the men who abused her and exact revenge on other upper-caste men who had tortured many lower-caste women.

"I thought about killing myself many times. But I didn't want to die without getting my revenge. The anger against them gave me the power to live," Devi recalled.

Leading the bandit group, she punished men who exploited poor rural women, and deprived wealthy families of money, valuables and land. She claims her gang beat the abusive men, although there are allegations of lynchings.

**I** learned how to read and how to control my anger. I read many books in prison and wanted to do something to help poor lower-caste women.

fight his battles legally, was further physically and sexually abused by her cousin and upper-caste men.

When she was 14, police accused her of robbing her cousin's home and arrested her. While in detention on what she says were trumped-up charges, Devi claims she was raped for three days.

About six months after her release from detention, Devi was kidnapped by two groups

She said the goods and land were redistributed among the poor, which made her a heroine among the lower caste.

In 1983, persuaded by the government, Devi turned herself in to the authorities and spent 11 years in prison. "I realized that being a bandit in the jungle couldn't eliminate discrimination against lower castes. I asked the government to take measures to stop exploitation by the upper

castes," she said.

Devi said her way of thinking changed while she was behind bars.

"I learned how to read and how to control my anger. I read many books in prison and wanted to do something to help poor lower-caste women," she said, adding she converted from Hinduism to Buddhism because it is not controlled by a caste system.

In 1994, after her release from prison, Devi formed Eklavya Sena, a private group to support women in rural areas. Her group has demanded that the government build schools and teach girls self-defense.

Devi was elected to Parliament in 1996, but lost a re-election bid last year.

Her legendary life is recounted in "Moi, Phoolan Devi," which was first published in France in 1996. A film of her life, "The Bandit Queen," was also produced.

Despite India's constitutional guarantees, the caste system is still practiced and Devi's tragic story remains a reality in India.

"Although the number of child brides is on the decline, some women are still married in their early teens and suffer at the hands of their husbands because of insufficient dowries such as money, jewelry and other property," she explained.

Devi said she wants to run for office again.

"Women need to get out of their houses and fight for women's rights. Doing nothing does not bring them any fruit. Women should quit being slaves to their husbands," she urged. "I want more Indian women to be educated so they can learn what their rights are."

99. 1. 28. 朝日.

性犯罪事件で

英大司教逮捕

容疑は否定、保釈処分

【ロンドン27日一日電】

【本報】英国ウエールズ地方のカトリック大司教が二十六日、少女に対して性的犯罪を加えた容疑で一時逮捕された。社会に衝撃を与えている。約三十年前の事件の容疑で、真相は捜査当局に不明なままになっているが、同日夜の全メディアは「カトリック大司教の事件」として報道した。

一時逮捕されたのは、ウエールズ地方カトリックのシモン・ウーナム大司教だ。ロンドン警視庁が、一九六〇年代にロンドンで六歳

の少女に対して「重大な性的犯罪を犯したのではないか」との疑いで捕らえた。

事件のあと、大司教は三月九日まで保釈処分になった。

大司教側は容疑を真っ向から否定し、拘束はあくまでも「こうした問題を避けるうえでの通常の措置であり、技術的なものでない」と主張している。だがBBC放送は「カトリック教会として『カトリック教会関係者の責任を伝える』必要が広がっている」という。

報道によると、大司教は一九四五年に「ラングストロ修道会」に入り、六〇一六六年にロンドン南部で地域教区の司祭を務めた。八三年から現職に就いた。

99. 1. 28. 産経 (24面)

# 女性が つくる 女性のメディア

1/28 99  
産経 P.24

ニューヨークのマンハッタンにある「オキシエン・メディア社」は、最高経営責任者（CEO）のシェラルディン・レイボーンが、ウェブサイトを構築、市場調査、デザインまですべて女性で担当している。

レイボーンさんはニッケル・オキシエン社社長、MTVに出演している。さまざまな興味を持つ女性、たとえば事業や投資を始めた女性にも対応したい」という。

来年一月一日の放送開始



## NYのオキシエン社

### 来年1月1日 放送開始目標

女性が犠牲者のシヨールには飽き飽き

を目指し、トークシヨールで知られるオブラ・ウィンフリーさんや、マーシー・カーシーさんというパワフルな助っ人女性も二人確保。オキシエン社の未公開株割り当てと引き換えに、ウィンフリーさんとカーシーさんのプロダクションはそれぞれ、オキシエンのたぐいにはなく、既存のネットワークからチャンネルを確保し、オキシエンの制作することになっている。

放送界の専門家として、ポール・ケーガン・アソシエーツ社のラリー・カープもろろしいからだ。AT&T系の米国第一の

ケーブル会社であるTCIと提携し、七百万人の視聴者を確保しているが、これだけでは不十分。レイボーンさんはケーブル会社獲得に資金を回すべく、コストの切り詰めにも余念がないが、メディア・ワンのシェディ・アレン事業本部長は「オキシエンはケーブル会社獲得のために苦勞するだろう。ケーブル会社に対して財政的なメリットの保証や株の譲渡などが必要だ」と話している。

(USA TODAY)

# 性暴力・虐待 苦しみ分かち合って

「自分だけじゃない、とわかった」「回復の道のりは長い。だから、つらい思いを分かち合える仲間は大切」……。日本でも少しずつ広がってきた自助グループの活動について、フォーラムで発言する予定の2人に聞いた。

**性暴力被害専用ホットライン**  
「トラウマ」を専門に相談を受けるサユリさん(仮名)。  
小学校から中学校にかけて、家族から性的な暴力を受けてきた。でも、記憶が欠けていて、漠然とした暴力の経験しかなかった。それが三年前、流産をきっかけに恐怖がよみがえりました。気が付くとカッターやナイフを手に入れている。布団を切り刻んだり、自分を傷つけたりしていた。  
クリニックに来てから徐々に記憶が戻り、望まない暴力だったのに、なぜ私がこんなに苦しまなければならぬのかと怒りの悲しみが噴き出し

## 自助グループがフォーラム

東京で31日

性暴力や虐待などによる深い心の傷を癒えて生きぬいてきた「サバイバー」(生存者)たちが、今度は、同様の思いをしている人の話を聞き、体験を分かち合う。そんな自助グループの選考に「日本トラウマ・サバイバース・ユニオン」(JUST、約三百十人)の非営利組織(NPO)法人化を記念して、三十一日に東京の公園フォーラムが開かれる。「だれにも言えない」とかつて思い詰めた人たちが、壇上から社会に発信する。

JUSTは、精神科医の斎藤千代さんのクリニックなどで治療を受けてきた人たちが、二年前に作った。トラウマ(心的外傷)全般▽性暴力被害▽摂食障害の女子を持つ親▽摂食障害の女子本人▽子どもを愛したい

母親、を対象とした相談電話を当事者が受け、体験を分かち合うミーティングなどを開いている。  
今回の公園フォーラムでは、斎藤さんから精神科医や臨床心理士とともに、できる限りサバイバーが主人公となつて、治療や活動、自らの思いについて語る予定だ。

「サバイバース・フォーラム」(心的外傷(トラウマ)からの回復)手をつなぐサバイバーたちは、三十一日午前十時半~午後六時。東京都中央区銀座三丁目の区立中央会館(地下鉄・新富町駅、東銀座駅)で。三千五百円。フォーラムの問い合わせは、電話03・53601・9880。

## 相談、自分の力に

ました。電話相談を受けるようになったのは、仕事を離れる決心をした昨年からの。クリニックの先生に勧められて、自分でもさそうに感じました。  
怒り、悲しみ、自分を責める体験を私としてきたから、電話をかけた時点で共感できる。苦しいのは自分だけではない、とわかる。「聞いてくれる、とわかった」と言われると嬉しい。私の力にもなりま

摂食障害の女性の自助グループに参加するミスホさん(仮名)。  
異様なほど食べ過ぎて吐くようになったのが、四年前。「こんな姿になりたいのには私だけだ」と自分を責めました。友だちにも言えない、と思っていた。だから、同じようにしている仲間と出会う、一番はっかしました。  
グループの会員は七十七人。閉じてもある人も多いため、そういう人たちの手紙は会費に載せています。主な活動は、ミーティング。「思い放し聞き放し」で順番に話す。聞いたことはその場所に置いていく。ホットラインを通二百回ぐらいですが、電

## 治るって何かな

「電話に話すとは呼ばずに『電話による分かち合い』と呼んでほしい」と言ったら治るんですか」と聞かれるけれど、「治る方法があったら私にも教えてくださる」と答えました。「治るって何かねえ」と、一緒に考え込んだり。  
みんないるなとで悩んでいる。それが「過食」「食べ過ぎて吐く」「拒食」という症状で表れるのが摂食障害。症状が止まれば終わりと、私も思っていた。けれど、症状が消えること、その後ろに隠れていた親との関係やいろんな問題を向き合わなくてはならない。結構つらいし長くかかる。だから仲間は大切です。

援助交際、性病、エイズ...

安易な性交渉は慎んで

中、高校生など十代の少女が、援助交際によるトラブルや性病、エイズ(後天性免疫不全症候群)の感染、中絶などに關する相談を病院、助産院にするケースが増えている。ここから、日本助産婦会(東京都千代田区)では二月二日から十代の少女を対象にした電話・窓口相談「思春期相談室」を開設する。「自分の体のこと、安易な性交渉を求めたり、簡単に考えないでほしい」と、電話相談を通じて伝えていきたい」と同会では話して

いる。

厚生省の調べによると、平成八年度の二十歳未満の人工妊娠中絶件数は二万八千二百五十六件。件数そのものは前年、前々年と大きな変化はないが、十代の少女が占める割合は八・三%と過去最高となった。

平成九年、十年度の調査では、その割合が高くなる傾向も考えられるという。「思

体的な数字の増減には表れて

いないが、全国三百カ所の助産院から「中高生の相談、診察が増えた」という意見が相

次いたのが、電話相談開設のきっかけ」と、日本助産婦会の岡本喜代子専務理事。

「相談する中、高生のタイプも両極端で、援助交際が原因のトラブルである子も多く

なったが、進んでほしい」と、産婦を母体として周囲の人間に相談

できない内向的な子もいる。

学校の保健室の先生には話せないことを第三者の専門家に話すことで、彼女たちに自分の体を大切にすることを教え

ていければ」と、岡本専務理事は話している。

電話相談は二月二日から、毎週火曜日の午後四時から六時まで。

個人相談は電話予約のうえ、毎月第三土曜日の午後一時から五時まで。

相談、予約、問い合わせは日本助産婦会会費03・3262・9910まで。

助産「思春期相談室」を開設

1/30 99 産経

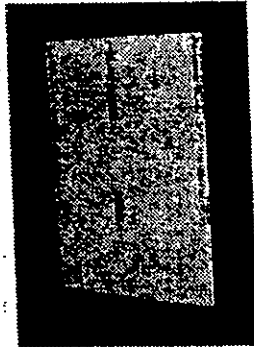
つぐやまの政治思想

李 静和著

不思議な本に田舎だ、と驚いた。  
本の前半が著者のいわく「國體思想」後半がそれ  
に対する二人の論議の応答といふ構成を以てして、  
読みやすいといつて内務省だんだん強硬態度を  
示してついでに、思はずについでに後半が前半の  
論議の要約をなしてついでに。  
それは、前半が論議だ、後半がそれに対する  
文法は新しい教文書だ、といつておの、ちとしてなま  
か魅力なのだから。  
著者は韓国人女性である。従軍慰問婦であった女  
性の体験を証書とするその意味を主題として、思想  
的・精神的な問題をめぐらしてついでに。  
従軍慰問婦問題が、いかに戦争をまねてついでに、  
著者のこの問題が、いかに戦争をまねてついでに、

韓国の歴史問題  
詩的な言葉で語る

題に対する従来の論議に慣れた読者からすると、  
まじく、韓国の「ムス」といふ言葉が、  
たゞ、韓国の「ムス」といふ言葉が、  
の「詩」を用いて、著者は、  
の、韓国の「ムス」を、  
また、韓国の「ムス」を、  
令、韓国の「ムス」を、  
い、韓国の「ムス」を、  
が、韓国の「ムス」を、  
の、韓国の「ムス」を、  
の、韓国の「ムス」を、



の、韓国の「ムス」を、  
それ、韓国の「ムス」を、  
て、韓国の「ムス」を、  
それ、韓国の「ムス」を、  
の、韓国の「ムス」を、  
本人、韓国の「ムス」を、  
を、韓国の「ムス」を、  
い、韓国の「ムス」を、  
は、韓国の「ムス」を、  
る、韓国の「ムス」を、  
○、韓国の「ムス」を、  
年、韓国の「ムス」を、



99.2.3. J.T.

## China women face rights violations

UNITED NATIONS (AP) While the participation of Chinese women in politics, education and health care has gradually improved in the past few years, more than 100 million women are still illiterate and the violation of women's rights is not uncommon, Ambassador Qin Huasun said Monday.

"In a word, there is still a long way to go before the various forms of discrimination against women can be eliminated and gender equality fully realized," he told the U.N. Committee on Elimination of Discrimination Against Women.

The ambassador was presenting China's report to the 23-member expert body that monitors compliance with the U.N. Convention on the Elimination of All Forms of Discrimination Against Women.

Qin said the Chinese government is "soberly aware" that it is a developing country with 600 million women — more than one-fifth of the world's total — and is "not entirely free from the remnants of the old feudal thinking."

The government has found it very difficult to alleviate the poverty of rural women, and recognizes that the participation of women in politi-

cal life is still low, he said.

In the past two years, following economic reforms, there have been major layoffs of female workers, Qin said.

Members of the Chinese delegation answered written questions about China's policy toward minority women — including Tibetans and Mongolians — insisting their religious rights are fully protected.

In Tibet, couples are encouraged to have two children and family planning regulations fully respect the Tibetan cultural tradition and religion, delegates said.

# 99.2.4. 証売

## 「割礼は違法」 仏で裁判開始

アフリカ出身女性が提訴

【パリ4日中井隆明】

国際的な懸念としてアフリカ各国で繰り返されてきた女性に対する割礼をめぐりフランス在住のアフリカ出身の女性たちが提訴をした裁判が、二日午後、パリ裁判所で行われた。

「身体への欠損、あるいは不潔の罪をあたらしめ、改変の進行」をめぐってフランスの法律は、何世紀も前からアフリカを植民地としたフランスが、アフリカ出身の女性たちを提訴をした裁判が、二日午後、パリ裁判所で行われた。

「身体への欠損、あるいは不潔の罪をあたらしめ、改変の進行」をめぐってフランスの法律は、何世紀も前からアフリカを植民地としたフランスが、アフリカ出身の女性たちを提訴をした裁判が、二日午後、パリ裁判所で行われた。

がやはり同一人物から割礼を受けた経験を持ち、自分の妹が同様の行為の犠牲になったのを記憶している。彼女が、この女性は、彼女たちの母が約五十八人の少女に対して割礼を行ったことを、これを依頼したという両親は二十七人も被控者に座った。最高十五年の重労働罪をも見込むこの裁判は、一週間で結審する見込み。

女性性器の一部を切り取る割礼は、生後一か月から十歳ごろまでの年齢の少女に対して行われ、アフリカ各地でも一億三千万の少女が受け続けている。また田舎やシマの一部地域でも同じ行為が伝統的に実施されてきたとされるが、フランスを離れるための衛生上の問題などから、これらの女性の性行動にも大きな影響がもたらわれ、近年チセネカール、中央アフリカなど多くのアフリカ諸国でこれを禁止する法律を制定している。

# 運動の足跡を忘れないで

## 「行動する女たちの会」が記録集

ウーマンリブ以降の女性史  
 の中では見過ごされがちだっ  
 た一九七〇、八〇年代の女性  
 たちの奮闘・抗議活動の記録  
 を残すべく、九六年に解散し  
 た「行動する女たちの会」が  
 このほど、二十周年にむか  
 活動記録集「行動する女たち  
 が拓いた道」をメキシコから  
 ニューヨークへ（行動する  
 会記録集編集委員会編、未来  
 社）で写真とをまとめた。メ

ンバーは「大学の女性等の課  
 座などで使ってほしい」と呼  
 びかけている。  
 同会は、七五年の国際婦人  
 年を機に、社会の意識改革だ  
 けでなく、政策に結びつく具  
 体的行動を起こそうと結成さ  
 れた。上座下座式の運動では  
 なく、共演したテーマで個人  
 同士が結びつくネットワーク  
 型の運動を提唱。最盛期は、  
 全国から千人ほどが参加し  
 た。抗議から一  
 九月後、放映は



た。  
 記録集では、主に最初の十  
 年間にかかわったメンバーた  
 ちが、当時の行動のきっかけ、  
 具体的な提案、結果につ  
 いて書いている。  
 ハウス食品のO.M.「私作る  
 人、ほくほく食べる人」に対す  
 る抗議活動は有名。同社に対  
 し、七五年九  
 月、O.M.の中止  
 を求め、中止し  
 ない場合は不買  
 運動をするとい  
 う申し入れをし  
 た。抗議から一

女性も入れる「公選のシエ  
 ター」を初めて東京都に開選さ  
 せた。  
 会の中心メンバーだった井  
 上の中島道子さんは「現  
 在、ネットワーク型の運動は  
 広がっている。しかし、差別  
 を告発するといった根拠は弱く  
 なっているように感じる。や  
 り方は違っても、論じるだけ  
 でなく『現実を変えていく』  
 という目的で、若い人たちに  
 がんばってほしい」と話して  
 いる。  
 活動年表つきで、二百九十  
 四、三千八百円。全国の書  
 店で販売している。

## 今年のお正月は文ハルモニをお迎えしよう

慰安婦出身ハルモニ達、中国の文明今さんの帰国を助けるために仁寺洞で一日喫茶店

中国版「ファンハルモニ」文明今さんの64年ぶりの帰国を助けるために、慰安婦ハルモニ達が力を合わせた。

文ハルモニは64年前の1935年に日本軍の軍隊慰安婦として連れ去られ、昨年4月に本誌の周旋によって国内で肉親を見つけたが、家族側の事情で帰国が延び延びになっていた。

そんな中、「死ぬ前に一度でも故国の土を踏みしめたい」という文ハルモニの切ない願いが、日本軍慰安婦ハルモニたちの憩いの場である京畿道広州郡の「ナナムの家」にも伝えられた。

院長の慧真師とここに起居する7名の慰安婦ハルモニは、文ハルモニが亡くなる前に最後の墓参りだけでもできるようにと、旧正月前に招請することを決定した。ハルモニ達が話し合った結果、この5日より三日間一日喫茶店を開き、その収益金を文ハルモニの帰国費用に充てることにした。

若い頃に酷い苦痛を味わされたハルモニ達は皆が健康を害している状態。キム・スンドクハルモニ(79)は先月風邪をこじらせて4日間入院し、キム・クンジャハルモニ(75)も肺炎で病院に身を寄せている。しかし、キム・スンドクハルモニは「こんなに構りたがっているのに、放っておいてそのまま逝かせてしまえようか。とは言え私たちにもお金はないから、身体をもってでも助けなければ。」と目を潤ませた。

場所と材料を提供するという後援者も現れた。ソウル鍾路区仁寺洞のカフェ「サルマシオソラ」の店主は「文ハルモニの肉親までも生活苦に陥いているという話を聞き、お手伝いをすることにした。」と語った。

「ナナムの家」の計画によると費用は手続代・航空券代等を含めて1,200万ウォン余り。慧真師も後援金集めに東奔西走している。当面文ハルモニの永住帰国は難しかろうが、ひと月余り国内に留まって健康診断と故郷訪問をする予定である。

文ハルモニは18才の時に慶尚南道河東から日本軍によって連れ出され、中国黒竜江省孫興県豊屯里軍隊慰安所で10年過ごした後、戦後帰国できず家族との連絡も途絶えた。現在、元慰安所付近の敬老院で生活している文ハルモニの生存は、昨年4月にここを訪問した韓国挺身隊研究所と「ナナムの家」によって確認された。

## “을설엔 文할머니 모셔야죠”

위안부출신 할머니들  
中 문명금씨 귀국돕기  
인사동서 일일차집



중국판 「문 할머니」 문명금(文明今·82)씨(본보 98년4월13일자 보도)의 64년만의 귀국을 돕기 위해 국내 일본군 위안부할머니들이 팔을 걷어붙였다.

문할머니는 64년전인 1935년 일본군 군대위안부로 끌려갔다. 지난해 4월 본보의 주선으로 국내 혈육을 찾았으나 가족들마저 가정형편이 어려워 귀국을 미뤘었다.

그러던중 「죽기전에 한 번이라도 고국땅을 밟고 싶다」는 문할머니의 애절한 바람이 최근 일본군 위안부 할머니들의 보금자리인 경기 광주군 「나눔의 집」에 전해졌다.

원장인 혜진(慧眞)스님과 어우어 거거하는 일곱분의 위안부 할머니들은 문할머니가 돌아가시기 전에 마지막 성모라도 할 수 있도록 설날전에 초청키로 결정했다. 할머니들은 공리골에 5일부터 사흘동안 일일차집을 열어 직접 차를 나르고 손님들을 맞아 문할머니의 귀국비용을 마련하기로 했다.

꽃다운 나이에 입에 담기도 어려운 몸살 고통을 겪었던 이웃 할머니들은 대부분 건강이 나빠진 상태. 김순덕(79)할머니는 지난해 심

문명금할머니가 문명금이 지난해 4월 여동생 명순씨와 남동생 김현씨를 63년만에 만나 회한의 눈물을 흘리고 있다.

한 몸살감기로 열흘동안 병원에 입원하였고 김군자(76)할머니도 뇌혈액으로 병원신세를 지어왔다. 그러나 김순덕할머니는 「그렇게 오고 싶어 하면서 바쁘게 지내서 그냥 죽으면 어떡할라고 우리가 돈이 없으니 몰으라라도 도와야겠다며 눈물을 글썽였다.

장소의 재료를 제공하겠다는 후원자도 선뜻 나섰다. 서울 종로구 인사동의 카페 「살마시 오소라」의 주인은 「문할머니의 국내 혈육마저도 어렵게 생활하고 있다는 얘기를 듣고 나서게 되었다고 말했다.

「나눔의 집」이 계획한 모금액은 수수료와 항공료 등을 포함해 1,200여만원. 혜진스님도 후원금을

마련하기 위해 등분서주하고 있다. 문할머니의 영구귀국은 여러가지 절차때문에 아직 어렵지만 한달여 정도 국내에 머물게 하면서 건강진단과 고향방문을 시켜드릴 예정이다.

문할머니는 18세이던 35년 경남 하동에서 일본군에 의해 중국 베이징(北京)성 순우(順吳)현 아오문(阿文)리 군대위안소로 끌려가 12년간 생활하다 전쟁이 끝난후 돌아오지 못해 가족과 연락이 끊겼다. 현재 위안소 인근 경로당에서 생활하고 있는 문할머니의 생존 사실은 지난해 4월 이곳을 방문한 한 극장산대연구소와 「나눔의 집」에 의해 확인됐다. /유병룡기자

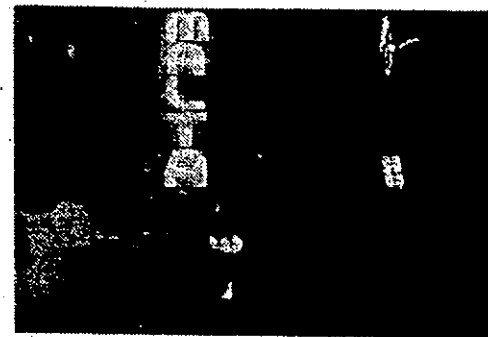
byu@hankookilbo.co.kr

# 援助交際 こんなに危険!!

援助交際(少女宿)相  
手に少女が脅迫されるなど  
の事件が多発しているた  
め、警視庁少年一課は、携  
帯電話の番号から住所など  
を突き止められ、脅迫され  
る実態や、ナイトクラブの  
店員らからホスト遊びを教  
えられ、肉體から扱われ  
なくてはならない危険性を  
詳しく「オカシ」の書物に  
(二十五頁)「本質」を親  
作、八日から都内全警署  
や部の教育委員会に配布す  
る。児童のある学校などに  
貸し出すが、この「オカシ」  
の製作は金田でも初め

例違反事件のほかに、  
援助交際の相手から脅迫  
された少女や家族の監視行  
への相談から発覚してい  
る。  
携帯電話の番号から住所  
や親の勤務先、預金簿や  
クレジットカードの暗証番  
号などの割り出しをやり  
物にする調査会社は金田に  
警告する。また、この「オ  
カシ」の方法で少女の身元や保  
護者の勤務先を突き止め、

## ケータイから住所…脅迫



## ホスト遊びのため…売春

脅迫に悪用しているらしい。  
一友、ナイトクラブやテ  
レクラを利用した少女六百  
五十人を対象に、同課が調  
査した動機の一つは「友  
人や知人に誘われて」。援  
助交際相手の紹介が、売春  
防止法や児童福祉法違反容  
疑の被害者になることを知  
らない少女が多い。  
「オカシ」では、「ナイトで  
おいしいものを食べて三万  
円もらえるなんて超ラッキ

## あすから配布

「と、女子高生が友人に  
誘われナイトクラブに登  
録。月の小遣いが五千一  
万円の時には夢だったブ  
ンド品が欲しくなる心理が  
描かれ、「目をうつらして」  
時間我慢すれば五万十方  
円、時給十万円か」と売春  
に誘われ、ナイトクラブから  
ホストクラブを紹介され  
て、ホスト遊びを続けるた  
め強みにはまる姿を紹介。  
少女を食い物にする風俗業  
界の実態や、少女が親から  
小遣いをもらって目玉を  
なす援助交際の兆候なども  
盛り込まれている。  
また、同級生が売春防止

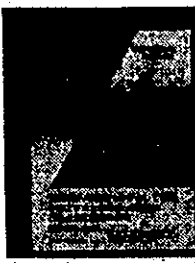
法違反容疑で逮捕された後  
も売春を続けていた少女  
は、父親の勤務先に、相手  
から「娘の売春を会社に  
知られたらなげれば金五  
万円」と脅迫電話がかか  
り、最後には、母親が自殺  
未遂し家庭が崩壊寸前にな  
る。  
「オカシ」は「あなたにとっ  
て一番大切なものは何です  
か、失う前にもう一度考え  
てみてください」と呼び掛け  
ている。いずれも児童にお  
ける「オカシ」を配布する  
ため、この「オカシ」を  
配布する内容となっている。

「行動する女たちの会」が記録集

性差別への抗議などで知られ、一九九六年に解散した「行動する女たちの会」の女性たちが、二十一年の活動記録集「未来社」を出版した。

「国際婦人年をきっかけとして行動を起こす女たちの会」(以下「行動する女たちの会」)は、一九九六年の解散を前に、二十一年の活動を振り返る記録集「未来社」を出版した。

若い人が多いが、食品メーカーのCM「私作る人、僕食べる人」は伝統的性別役割分担意識を固定化すると、異



産したり、「家庭科の女子のみ必修」はおかしいと文壇書に抗議し、マスコミの注目を集めた。

「行動する女たちの会」は、一九九六年の解散を前に、二十一年の活動を振り返る記録集「未来社」を出版した。

「行動する女たちの会」の活動記録集「未来社」は、二十世紀女性解放のために活動した女性の足跡を、次の世代に伝えるために、一冊発行された。

「行動する女たちの会」は、一九九六年の解散を前に、二十一年の活動を振り返る記録集「未来社」を出版した。

女性解放に残した同会の足跡

大きい。華々の年表が活動の軌跡を物語る。いまだ政府や産業界の女性政策が「男女共同参画」の名のもとに「男女共同参画」の名を冠して研究の中で「日本ではフェミニズム

動はなかった」と思っている人は少なくない。

記録集の編集委員の一人、

(田原真知)

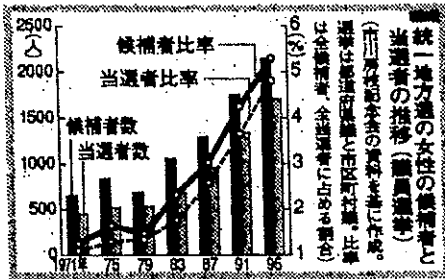
# 女性、10年で倍増

## 地方議員 統一選へ動き活発

「女が議会で何をやるのか、と尋ねられるが、さぞと仕事をしてみせたいよ」と  
 一月十六日夜、新潟市内のホテ  
 ル。約六十人を前に、六人の女性  
 が盛勢のいい言葉を述べた。四月  
 の新潟県議選(定数六二)に、民  
 主党も共産党の公認、自民党も社  
 民党系の無所属で立候補を予定し  
 ている人たちが。

「女性議員ゼロ議案をなくせ」と  
 と呼びかけた交流院だ。民主党の  
 女性参議院議員らがバックアップし  
 たが、集まった人たちは党派を超  
 えていた。  
 全国四十七の都道府県議会のうち  
 ち、秋田、岩手など十県は現在、  
 女性議員がいない。新潟でも一九  
 四七年の第一回統一地方選以来、  
 前回までに女性十五人ほどが立候  
 補したが、当選したのは第一回の  
 一人だけだ。実行委員長は、議員  
 五十人までをこえは「女性にぜひ議

員になってもらい、まだ定着して  
 いない男女平等の視点で問題を解  
 決してほしい」と期待する。  
 今春の統一地方選に向け、女性  
 のグループが候補者を出す動きが  
 大阪など大都市部のほか、豊後や



「統一地方選の女性の候補者」と  
 選挙区は都道府県と市区町村別。比率  
 は全候補者、全当選者に占める割合

富山、秋田など全国各地で展開さ  
 れている。あるグループは「八九  
 年のマドンナブームとは違う地に  
 足のついた店がた。介護保険な  
 ど、女性に密接な課題が相次いで  
 いるのが背景にある」とみる。  
 議院に女性を送る運動の先駆け  
 となった市川府枝記念会(東  
 京)。九四年からは講座「政治参  
 画センター」を開き、公選法の内  
 容や選挙運動の方法などを、自治  
 体の元選挙職員や大学教授、元議  
 員秘書らが教えている。前回九五  
 年の統一選には選挙生のうち三十  
 六人が立ち、二十四人が当選し  
 た。今年約四十人が出る予定  
 だ。

自治会などのものでは地方議  
 員(都道府県と市区町村)の女性議  
 員数は九七年末現在、二千九百五  
 十四人(全議員の四・六%)で、  
 八七年の千四百四十七人の約二  
 倍。八七年は、当時の社会党首  
 に土井たか子さんが就任した翌年  
 で、記念会によるとこの年から  
 女性議員が増えている。  
 一方、女性議員は現在、埼玉東  
 蓮田市市長ら四人。これを含め  
 後、少なくとも計十八人の女性首  
 長が誕生しているが、同時に四  
 人いるのは、四五年に婦人参政権  
 が認められた直後に多い。  
 これについて、記念会の山口み  
 つ子常務理事は「女性市民活動  
 などに活発に取り組んできたが、  
 限界があった。そこで、政治の場  
 に出ないための地道な働き、地位  
 や権限を持つこととする強い意思が  
 感じられる。女性の「政治化」で  
 す」と話す。

十四人(全議員の四・六%)で、  
 八七年の千四百四十七人の約二  
 倍。八七年は、当時の社会党首  
 に土井たか子さんが就任した翌年  
 で、記念会によるとこの年から  
 女性議員が増えている。  
 一方、女性議員は現在、埼玉東  
 蓮田市市長ら四人。これを含め  
 後、少なくとも計十八人の女性首  
 長が誕生しているが、同時に四  
 人いるのは、四五年に婦人参政権  
 が認められた直後に多い。  
 これについて、記念会の山口み  
 つ子常務理事は「女性市民活動  
 などに活発に取り組んできたが、  
 限界があった。そこで、政治の場  
 に出ないための地道な働き、地位  
 や権限を持つこととする強い意思が  
 感じられる。女性の「政治化」で  
 す」と話す。

## 99. 2. 7. Japan Times

### **Women's group hosting counseling symposium**

The Asian Women's Fund will sponsor a symposium featuring the experiences of counselors for victims of domestic violence, sexual harassment or rape. Participants will discuss how to provide psychological care to victims without inflicting further damage.

Maggie Ziegler, clinical supervisor at Canada's Family Services of the North Shore and counselor for trauma victims following the conflict in the former Yugoslavia, will speak on support for victims in Canada, followed by a panel discussion on the situation in Japan.

The symposium will be held Feb. 20 from 1 p.m. to 4:30 p.m. at the Tokyo Women's Plaza, a seven-minute walk from the Omotesando subway station and a 12-minute walk from JR Shibuya Station. Admission is free and simultaneous interpretation is provided. Skill training seminars are also scheduled from Feb. 21 to 23.

Seats are limited for both programs. To reserve a spot, call (03) 3588-9322 or fax (03) 3583-9321.



歳費積み立て、アジアに学校

カンボジアのフンペン郊外の小学校が昨年末、真新しい校舎に生まれ変わった。自民党の議員二、二人で組織する「アジアの子供たちに学校を」という会が中心となり、同会の代表を務める建設政務次官の遠藤利明氏（49、比例東北ブロック）



建設政務次官 遠藤 利明氏

アジアの子供たちに学校

「アジアの子供たちに学校を」という会が中心となり、同会の代表を務める建設政務次官の遠藤利明氏（49、比例東北ブロック）

若手議員が結束、友好の種まく

は、多くの小学校が荒れ果てたまま。同会は九七年秋に結成後、メンバー全員が議員歳費から毎月一万円ずつの積み立てを続け、なされた計約一千万円をカンボジア郊外の「カムムロー小学校」（生徒数約六百人の新築・改築）

修繕に充てた。

遠藤氏が「アジアの子供たちに学校を」という計画したのには、「戦時中、敵対関係にあった日本とアジア諸国は、現在も対立関係にある引きずってお

り、必ずしも友好関係であるわけはない」と感じただから。O

DA（政府開発援助）が十分に効果を上げていないケースが目立つのも理由の一つだ。同会では今回、議員が選んでいない現地の事情を考慮して、分業して学校をプレゼントしようという計画だ。（北）

「アジアの子供たちに学校を」という計画だ。

「現地で活動するNGO、非政府組織」と連携し、本道に必要としている物は何かを十分に調べる必要がある」とも提言する。

昨年末には、遠藤氏の国会議員九人が現地入りして贈呈式が行われた。出迎えた子供たちがニコニコしていたのが印象に残ったという。今後、地元の手

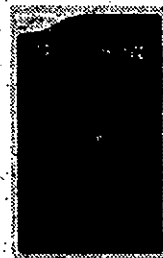


99.2.8. 毎日(夕)

韓国人の歴史観

黒田勝弘著

新書ノンフィクション



文庫新書 (690円)

内容 「反日」感情の原因は、いつの間にか、日本の植民地支配、従軍慰安婦問題、日韓鮮族被害片論の解体、黒田勝弘の著書「天皇の軍艦」が、韓国の世論に与える「反日」的副作用、その副作用を解消して、両国が共存共栄の道を探る。著者は、韓国の歴史を、その歴史の裏面から探る。韓国の歴史を、その歴史の裏面から探る。韓国の歴史を、その歴史の裏面から探る。

日韓の歴史認識

共有は難しいか

戦後、また、わが国の首相が「歴史の反省」を繰り返した。日本は「歴史」を「歴史」として、その本質を捉え、その歴史を、その歴史の裏面から探る。韓国の歴史を、その歴史の裏面から探る。韓国の歴史を、その歴史の裏面から探る。

ひびく。韓国人は「歴史認識」、日本人は「歴史認識」を共有して、その歴史を、その歴史の裏面から探る。韓国の歴史を、その歴史の裏面から探る。韓国の歴史を、その歴史の裏面から探る。

# とうなるアジア女性基金

財団法人「女性のための足」主任理事として著名な台湾、フィリピンの野村九、合議で日本政府に国庫  
 債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している

## 「償い金」の8カ月支給中断

野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している

# 継続へ打開策模索

野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している

野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している  
 野村九、合議で日本政府に国庫債権を要求して取り取りを「償い金」に反対している  
 「償い金」に反対している

